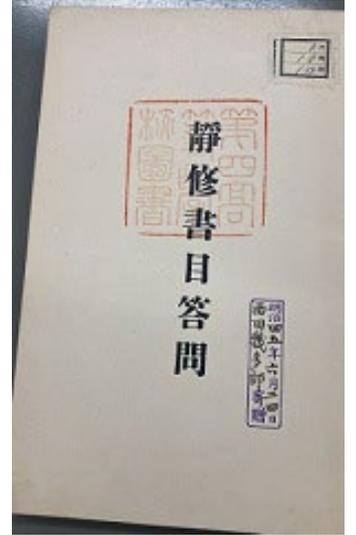


西田幾多郎先生の読書のススメ Professor Nishida's Guide to Reading

会期：2025年6月16日（月）～8月29日（金） 場所：中央図書館「思考の森」展示コーナー

明治末期（1912（明治45）年）、京都帝国大学の学生監を務めていた**山本良吉**（四高出身、西田幾多郎の親友）は、内外の著名な学者に「一般帝国大学生の品性鍛錬に必要な書籍」の推薦についてのアンケートを行い、70名からの回答を集めた帝大生向け読書案内『**静修書目答問**』を発行しました。本学附属図書館が所蔵するこの本は、当時京都帝大の助教授だった**西田幾多郎**が、母校四高に寄贈したもので、西田自身も14点の書物を推薦しています。

今回の展示では、西田の推薦図書を中心に『静修書目答問』が描き出す明治期の大学生の読書の一端を紹介します。展示を通じて現代の学生が読書の魅力に触れ、関心を深めるきっかけとなることを期待しています。



西田幾多郎（にしだ・きたろう、1870～1945、第四高等中学校（四高の前身）中退、その後四高教授）近代日本を代表する哲学者。「純粹経験」の概念をもとに日本初の体系的哲学書『善の研究』を執筆後、さらに探求を続け、「西田哲学」と呼ばれる独自の哲学体系を築いた京都学派の創始者。

【展示資料】 ★は西田幾多郎お薦めの本（その他詳細は裏面参照）。すべて金沢大学附属図書館所蔵

- ① **静修書目答問** / 山本良吉著；京都帝國大學以文會編. 博文館, 1912.6
四高所蔵本は西田寄贈
- ② **西田幾多郎の手紙** / 西田幾多郎 [著]；田部隆次 [編]著. 斎藤書店, 1947.10
四高教授時代西田の同僚だった田部隆次が西田からもらった 200 通以上の書簡を西田の死後書籍化した本。『静修書目答問』の回答に際して、田部がアドバイス行った旨の記述がある。
- ③ **Epiktets Handbüchlein der Moral : nebst anderen Bruchstücken der Philosophie Epiktets (エピクテトス『人生談義』)** / aus dem Griechischen übersetzt von H. Stich. Philipp Reclam, [Vorw. 1884] ★
- ④ **Selbstbetrachtungen (マルクス・アウレリウス『自省録』)** / Mark Aurels ; herausgegeben von Heinrich Schmidt. A. Kröner, [1909] ★
- ⑤ **Der Schatz der Armen. 2te Aufl (メーテルリンク『貧者の宝』)** / Maurice Maeterlinck ; in das Deutsche Übertragen von Friedrich Oppeln-Bronikowski. Diederichs, 1902★
- ⑥ **Weisheit und Schicksal. Verbesserte Aufl (メーテルリンク『智慧と運命』)** / Maurice Maeterlinck ; deutsche übertragen von Friedrich v. Oppeln-Bronikowski. Diederichs, 1902★
- ⑦ **獄中記** / オスカ・ワイルド著；阿部知二譯（岩波文庫）。岩波書店, 1935年★ ※訳者序の中に西田の名前が登場。
- ⑧ **遠羅天釜 (おらでがま)** / [白隠慧鶴著]. 1751 (寛延4)年★ ※暁烏文庫所蔵本。同時期、暁烏敏（真宗大谷派の僧侶・宗教家、暁烏文庫寄贈者）もこの本を熱心に読んでいた
- ⑨ **北條先生に始めて教を受けた頃** (広島高等師範学校尚志同窓会「尚志」第109号付録所収) 1929 (昭和4)年 ※西田が四高生だった頃に北條から『遠羅天釜』をもらったことを記した文章。

西田幾多郎が『静修書目答問』で薦めている書物の概要と西田が読んだ版について

#	『静修書目答問』での表記	一般的な日本語表記*1	西田が読んだ可能性のある版	説明（分野、著者の出身、言語、版等）*2	岩波文庫*3
1	Bible.	『聖書』	特定できず。	キリスト教【善3,4】	●
2	Epictet, Handbüchlein der Moral.	エピクテトス『人生談義』	Handbüchlein der Moral : mit Anhang, ausgewählte Fragmente verlorener Diatriben / Epiktet ; eingeleitet und herausgegeben von Wilhelm Capelle. E. Diederichs, 1906	哲学（古代ギリシャ）。オリジナルはギリシャ語だが西田はドイツ語版を推薦。1911年以前刊行のドイツ語版には京都大学附属図書館西田文庫所蔵の左記のものがある。	●
3	Maec Aurel, Selbstbetrachtung en.	マルクス・アウレリウス『自省録』	Des Kaisers Marcus Aurelius Antonius : Selbstbetrachtungen / Neue Übersetzung mit Einleitung und Anmerkungen von Albert Wittstock. Reclam, [1879]	哲学（ローマ皇帝、哲学者）。オリジナルはギリシャ語だが西田はドイツ語版を推薦。西田自筆図書カードによる蔵書目録中にあるのは、左記の本。	●
4	Pascal, Gedanken.	パスカル『パンセ』	特定できず	哲学（フランス）。オリジナルはフランス語だが、西田はドイツ語版を推薦。西田の蔵書の中にはドイツ語版を確認できず。【善3】	●
5	Maeterlink, Der Schatz der Armen.	メーテルリンク『貧者の宝』	Der Schatz der Armen. 2te Aufl / Maurice Maeterlinck ; in das Deutsche Übertragen von Friedrich Oppeln-Bronikowski. Leipzig : Diederichs, 1902. 【四高蔵書】	文学者（ベルギー）の随筆。オリジナルはフランス語だが、西田はドイツ語版を推薦。当時の四高蔵書で読んだ可能性がある。	●
6	Maeterlink, Weisheit und Schicksal.	メーテルリンク『智慧と運命』	Weisheit und Schicksal. Verbesserte Aufl / Maurice Maeterlinck ; deutsche übertragen von Friedrich v. Oppeln-Bronikowski. Leipzig : Diederichs, 1902. 【四高蔵書】	文学者（ベルギー）の随筆。オリジナルはフランス語だが、西田はドイツ語版を推薦。当時の四高蔵書で読んだ可能性がある。	●
7	Wilde, De Profundis.	ワイルド『獄中記』	特定できず。ただし西田蔵書中には次の版があり。De profundis / Oscar Wilde. Methuen, 1913	文学者（英国）の手記。この本については、この当時、多数の出版社から発行されており特定できない。出版時期的には合わないが、西田の蔵書中には左記があり。【善4】	●
8	Guyau, Sittlichkeit ohne Pflicht.	ギュイヨウ『倫理学：義務及び制裁なき道徳の考察』	Sittlichkeit ohne "Pflicht" (Esquisse d'une Morale sans Obligation ni Sanction) / von J.M. Guyau ; ins Deutsche übersetzt von Elisabeth Schwarz (Philosophisch-soziologische Bücherei, Bd. 13) . Werner Klinkhardt, 1909	倫理学（フランス）。版は特定できないが、出版時期的に、左記のものと考えられる。1911年以前刊行のドイツ語版には京都大学所蔵（CiNiiBooksで確認）の左記のものがある。	●
9	H.White, The autobiography of Mark Rutherford.	日本語訳本なし。H.ホワイト『マーク・ラザフォードの自叙伝』	The autobiography of Mark Rutherford / edited by his friend Reuben Shapcott (The Works of Mark Rutherford / [by William Hale White], 1) . T. Fisher Unwin, [189-]	小説（英国）。マーク・ラザフォードは筆名で、本名はウィリアム・ヘイル・ホワイト（1831-1913）。宗教的な要素を持った自伝的な作品で#10は#9の続編。「ラザフォードの死後、友人のルービン・シャプコット（こちらも架空の人物）が出版した」という設定で出版されている。版は特定できないが出版時期的に、左記のものと考えられる。日本語訳は未刊。この2作は田部隆次の紹介でリストに加えたことが西田から田部への手紙(展示資料②)の中に書かれている。	●
10	H.White, Mark Rutherford's deliverance.	日本語訳本なし。H.ホワイト『マーク・ラザフォードの救い』	Mark Rutherford's deliverance / edited by his friend Reuben Shapcott (The Works of Mark Rutherford / [by William Hale White], 2) . T.F. Unwin, [18--?]		●
11	論語	孔子『論語』	特定できず。	儒教（中国）【善3】	●
12	傳習録	王陽明『伝習録』	傳習録：標註 / 王陽明. 正徳2年	陽明学（中国）。左記は西田の蔵書中の版【善3】	●
13	禪海一瀾	今北洪川『禪海一瀾』	禪海一瀾 / 今北洪川（上下）. 山口縣 昌興蔵版明治9年	禅宗（日本）。左記は西田の蔵書中の版。	●
14	遠羅天釜	白隠慧鶴『遠羅天釜』	遠羅天釜 / 白隠. 皇都書林, 天明5年	臨濟宗（日本）。左記は西田の蔵書中の版。なお『遠羅天釜』については、展示資料⑨の中に恩師・北條時敬からもらったという記述があり、左記と同一の可能性はある。	●

注 *1 岩波文庫で採用している書名等

*2 【善】は『善の研究』（1911(明治44)年）で引用しているもの。数字は『善の研究』の編の番号。

*3 岩波文庫に含まれていた記録のあるもの

(参考) 西田幾多郎が読書について書いた文章

- 『読書』（初出：京都府立第一中学校編纂「読書の菜」1916（大正5）年、『西田幾多郎全集（新版）第11巻』収録）
- 『暖炉の側から』（初出：『The Muse』10（1）+11(6) 1930～1931年、『西田幾多郎随筆集』（岩波文庫）収録）
- 『読書』（初出：『改造』20(11)1938年、『西田幾多郎随筆集』（岩波文庫）収録）

今回の展示は次の内容をベースに企画しました。併せてお読みください。

橋 洋平「第四高等学校所蔵『静修書目答問』と西田幾多郎による帝国大学生向け推薦書リスト」

金沢大学資料館紀要 20, pp.39-52, 2025年 <https://doi.org/10.24517/0002002652>

